

みずほCustomer Desk Report 2018/10/31号(As of 2018/10/30)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	112.53
TKY 9:00AM	112.34	1.1376	127.75	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	113.15	1.1387	128.43	1.2803	0.7062
SYD-NY Low	112.31	1.1340	127.74	1.2812	0.7122
NY 5:00 PM	113.13	1.1342	128.31	1.2697	0.7057
				1.2709	0.7106
NY DOW	24,874.64	431.72	日本2年債	-0.1300	▲1.00bp
NASDAQ	7,161.65	111.36	日本10年債	0.1200	2.00bp
S&P	2,682.63	41.38	米国2年債	2.8487	2.83bp
日経平均	21,457.29	307.49	米国5年債	2.9503	2.88bp
TOPIX	1,611.46	21.90	米国10年債	3.1180	3.02bp
シカゴ日経先物	21,655.00	600.00	独10年債	0.3670	▲1.20bp
ロンドンFT	7,035.85	9.53	英10年債	1.3975	▲0.05bp
DAX	11,287.39	▲48.09	豪10年債	2.5820	1.05bp
ハンセン指数	24,585.53	▲226.51	USDJPY 1M Vol	7.08	▲0.25%
上海総合	2,568.05	25.94	USDJPY 3M Vol	7.30	▲0.25%
NY金	1,225.30	▲2.30	USDJPY 6M Vol	7.83	▲0.13%
WTI	66.18	▲0.86	USDJPY 1M 25RR	-1.15	Yen Call Over
CRB指数	191.76	▲1.66	EURJPY 3M Vol	9.08	▲0.10%
ドルインデックス	97.01	0.43	EURJPY 6M Vol	9.50	▲0.07%

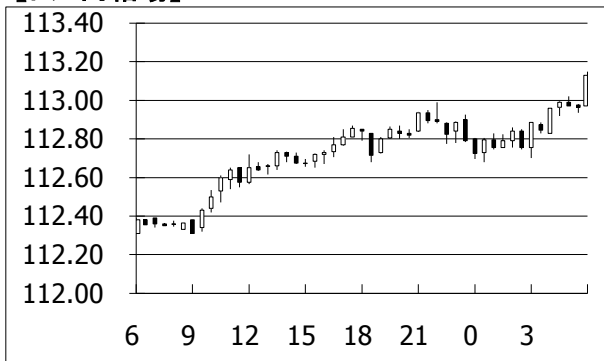
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月30日	19:00	欧 鉱工業信頼感指数	10月 3.0	3.9
	19:00	欧 サービス業信頼感指数	10月 13.6	14.0
	19:00	欧 GDP(前期比/前年比)・速報	3Q 0.2%/1.7%	0.4%/1.8%
	22:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	10月 0.2%/2.5%	0.1%/2.4%
	23:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感	10月 137.9	135.9

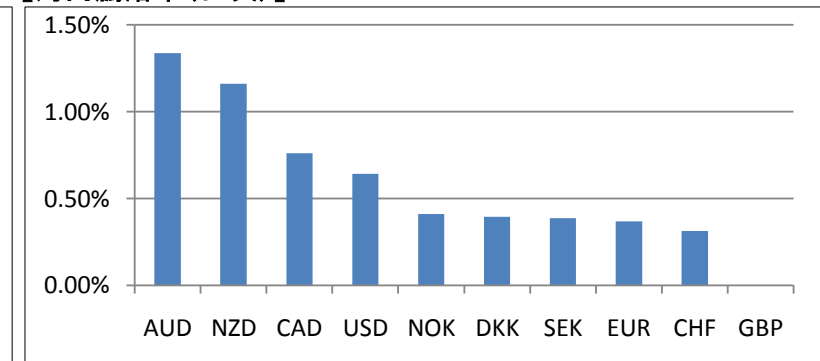
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月31日	09:30	豪 CPI(前期比/前年比)	3Q 0.5%/1.9%	0.4%/2.1%
	10:00	中 非製造業/製造業 PMI	10月 54.6/50.6	54.9/50.8
	16:00	独 小売売上高(前月比/前年比)	9月 0.5%/1.0%	-0.3%/1.6%
	19:00	欧 失業率	9月 8.1%	8.1%
	19:00	欧 コアCPI	10月 1.1%	0.9%
	19:00	欧 CPI速報値(前年比)	10月 2.2%	2.1%
	21:15	米 ADP雇用統計	10月 187k	230k
		日 日銀金融政策決定会合		

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.60-113.60	1.1300-1.1400	127.50-128.70

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は堅調な展開となった。トランプ米大統領が中国との貿易に関して、素晴らしい取引ができることにより、米中貿易摩擦への懸念が後退、NYダウが急反発し、ドル/円も堅調に推移した。発表された、米10月消費者信頼感指数が市場予想を上回り、2000年9月以来の高水準となったことや、米10年債利回りが上昇したことも支援材料となり、113円台に乗せて引けている。本日は底堅い展開を予想する。米株は大幅高、米長期金利も上昇したことでリスクオンの地合いとなっており、日経平均も堅調な動きが予想される。また、前日、メルケル独首相がキリスト教民主同盟(CDU)の党首としての再選は目指さず、首相も現任期限りとする意向を示したことにより、ユーロが下落していることもドルの下支え要因となり、ドル/円は底堅い値動きになると思われる。

東京	東京時間、112.34レベルで取引を開始したドル円は前日からのUSD買いの流れを引き継ぎ堅調推移。その後、トランプ米大統領の「対中貿易ですばらしい取引見込む」との発言を受け日経平均が上昇幅を拡大したことも追い風となり日中高値となる112.74まで上昇し112.72レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、112.72レベルでオープン。アジア時間のドル買いを引き継ぐ流れ。112.94まで上昇しそのままNYに渡った。ユーロドルは1.1375レベルでオープン。ドル買い相場の中で軟調推移する中、第3四半期のユーロ圏GDPが予想を下回ったことを受け1.1345まで下落幅を拡大し1.1347レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.2800レベルでオープン。引き続きフレキシブル停滞モードで上値が重い中でドル買いも追い風となり一時1.2729まで下落し、1.2740レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルフリー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	海外市場のドル円は終始堅調に推移。日経平均株価の上昇に支られたほか、トランプ米大統領が米中貿易交渉に対し「素晴らしい取引を見込む」と述べたことから、リスク回避モードが和らぎ112.94まで上昇し、112.94レベルでNYオープン。米8月ケース・シャワー住宅価格指数(20大都市圏)が予想を下回り112.78まで反落。その後発表された米10月消費者信頼感指数は予想を上回ったが、ドル円の反応は限定的。材料難から112.80近辺でもみ合う展開が続いた後、NY午後はトランプ米大統領の発言が再び意識され、米金利が上昇し米株が上げ幅を拡大する中、再度ドル買いが強まり113.15まで上昇し、113.13レベルでクロス。海外市場のユーロドルは1.1370近辺で小動きが続くが、NY早朝に発表されたユーロ圏7-9月GDPが予想を下回ったことから、ユーロ売りが強まり1.1341まで下落。その後、小幅に値を戻し、1.1347レベルでNYオープン。NY朝方は海外時間のユーロ売りが巻き戻され、1.1382まで上昇。しかし、米格付会社大手が「合意なきブレイク・リテックが英国の信用格付けに影響するほど高まった」と述べており、ポンドの下落に連れ安となり1.1340まで下落する。ほかにもドイツ政局不透明感への懸念がくすぶる中、安値圏での推移が続き、結局、1.1342レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:大熊・綱島